



高崎工場（アルミ鋳造）

- 本社所在地：群馬県高崎市
- 事業概要：輸送機器部品（アルミ鋳物・鉄鋳物・鋳鋼）の製造・販売
- 常時使用する従業員：100名（グループ全体 2026年3月時点）
- 現在の売上高：40億円（グループ全体 2025年12月期）
- 法人番号：4070001018155
- Web：https://aluminum-gravity.com

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
小澤 淳

## 高品質と多角経営で地域に貢献

内外・東京鋳造所グループは、「圧倒的な高品質」をテーマにした鋳物製造を通じ、自動車産業をはじめとする日本のモノづくりを支えてきました。2031年に売上高100億円を達成し、「鋳物100年企業を基盤とした日本製造業型の多角経営企業」として、群馬発のグローバルメーカーを目指してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2031年のグループ売上高100億円達成に向け、  
 ①国内既存事業の拡大  
 ②鋳物商社事業の成長  
 ③新規事業の立上げ  
 を3本柱として、2025年40億円から6年間で2.5倍の成長を目指します。

### 課題

- ・アルミ鋳造の生産性向上と自動化推進
- ・鉄鋳物の高付加価値製品拡大
- ・商社機能強化による提案領域拡大
- ・鋳鋼、グローバル（インド工場）、箱明の立上げ加速
- ・成長を支える人材確保と体制整備

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ①国内既存事業  
アルミ鋳造ラインの更なる自動化・ロボット化で生産性を30%向上、鉄鋳物事業で複雑薄肉形状の高付加価値鉄鋳物製品の拡充
- ②鋳物総合商社  
アルミ、鉄、鋳鋼他鋳物を材質問わずトータル提案
- ③新規事業  
小型精密鋳鋼の量産を2026年に開始、インド工場（Tokyo Foundry India Pvt. Ltd.）にて噴射ポンプの量産・販売を開始し、2031年に10億円の事業に成長、自社製品「箱明」（農業向け発泡スチロール製品）の量産事業化を推進

### 実施体制

- ①グループ企業が蓄積した生産ライン自動化・ロボット化技術を結集し、継続的な技術革新を推進します。
- ②アルミ、鉄、鋳鋼他鋳物を材質問わず対応できる体制を構築します。
- ③グループ企業のアルミ鋳物・鉄鋳物の知見を活かし、鋳鋼の技術開発体制を確立します。Tokyo Foundry India Pvt. Ltd.（インド工場）を核として、海外営業・製造のグローバル一体運営体制を構築します。グループ全体で鋳物技術を応用できる体制を構築します。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## グループの事業展開

### 【グループの事業展開】

- ①国内事業では、内外ではアルミ鋳造ラインの自動化・ロボット化により生産性を30%向上させます。東京鋳造所では複雑形状薄肉の高付加価値鉄鋳物品の拡充
- ②鋳物商社事業では、ナイガイキャスティングスはアルミ、鉄、鋳鋼材質問わず、最適な鋳物をトータル提案します。
- ③新規事業では、鋳鋼事業は開発量産体制を構築。インド工場（Tokyo Foundry India Pvt. Ltd.）では噴射ポンプ等アルミ鋳物の量産を2027年に初出荷し、インド国内・日系欧米企業向けに10億円規模の事業を構築します。「箱明（HACOAS）」は、断熱性に優れたポリウレアロール素材を用いた農業向けコンテナボックスの事業です。生鮮食品の鮮度を長時間維持するとともに、リサイクル対応によるSDGs貢献という付加価値を持ちます。設計・開発力を強化し、世の中に無い製品を生み出します。

これらの国内既存事業の着実な成長、鋳物商社事業、新規事業の創出により、2031年にグループ売上高100億円を達成します。

